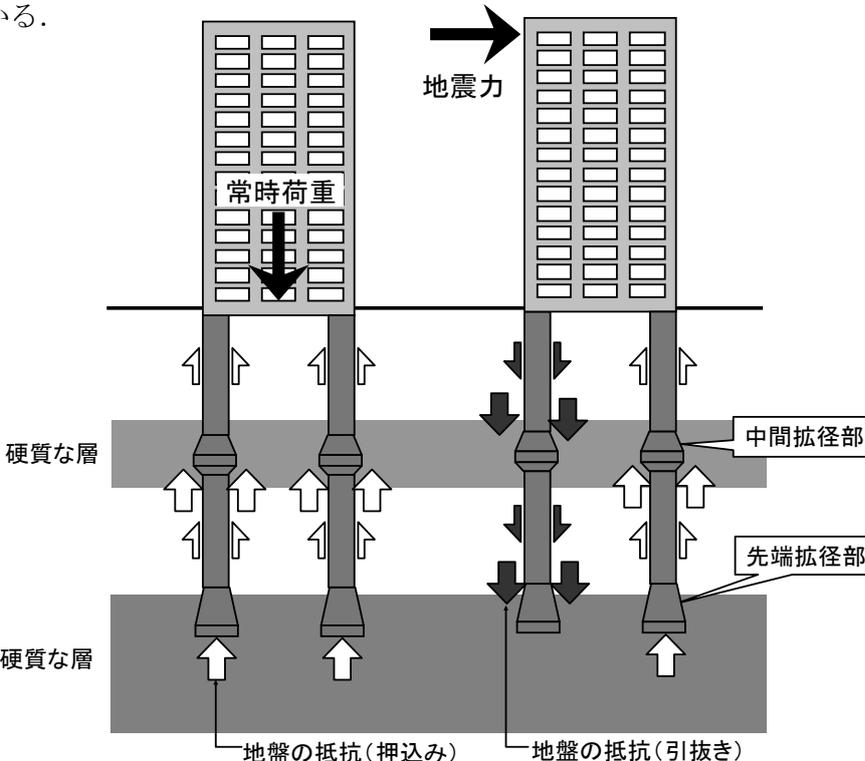


(継続課題)

NO. 32	技術開発 課題名	先端及び中間拡径部を有する場所打ちコンクリート杭工法の技術開発		
事業者	株式会社熊谷組， ジャパンパイル株式会社， 大豊建設株式会社， 大洋基礎株式会社， 東急建設株式会社， 東洋テクノ株式会社， 戸田建設株式会社， 西松建設株式会社， 三井住友建設株式会社			
技術開発 経費の総額 (予定)	約 110 百万円	技術開発 の期間	平成 23 年度～ 25 年度	
<input type="checkbox"/> 1 住宅等におけるエネルギーの効率的な利用に資する技術開発 <input type="checkbox"/> 2 住宅等に係る省資源、廃棄物削減に資する技術開発 <input checked="" type="checkbox"/> 3 住宅等の安全性の向上性に資する技術開発				
背景・目的	支持杭の中間及び先端に拡径部を設けて支持力及び引き抜き抵抗を確保し， 省資源化，低コスト化ともに建築物の耐震安全性の向上や長寿命化をはかる			
<p>■技術開発の概要</p> <p>先端部に加え中間部にも拡径部を設けることで押し込み及び引抜き耐力をより確実に得ることができ，かつ省資源化・低コスト化も可能な場所打ちコンクリート杭工法について，模型試験・載荷試験・施工試験・各種解析を実施して力学特性を把握・検証し，実用化をはかる。</p> 				
総評	初年度（平成23年度）の課題実施においては、当初の目標が着実に得られていると評価される。			